

人権フェスタで披露

町立第5保育所の園児らがくまモン体操など



会場を沸かせたくまモン体操



12月4日、10日の人権週間に合わせ、嘉島町のイオンモール熊本で人権啓発を目的とした「かみましき人権フェスタ2012」が開催されました。

熊本県人権擁護委員協議会と熊本県方法務局が主催したイベントで、1階に特設されたイベントコーナーでは人権紙芝居やおじやめ教室、折り紙教室などが行われました。2階では特設相談所が開かれ、福田病院理事長

福田稔氏による記念講演や中学生の人権作文発表会などがありました。

イベントの開会に際して、町立第5保育所(山田千代子所長)の園児ら14人が、一日人権擁護委員に任命された「くまモン」と一緒に登場。くまモン体操やダンス、手話を取り入れた合唱を披露すると、元気いっぱい園児らの姿に買い物客などが、足を止め拍手を送っていました。

新たに青色回転灯を装備

御船地区少年警察ボランティア協議会益城支部

御船地区少年警察ボランティア協議会益城支部(西田明敏支部長・広崎4町内)が、11月29日、県警本部から青色回転灯を使用するための証明書の交付を受けました。

同協議会は12月7日に開催された御船警察署が主催する「年末特別警戒・交通事故防止活動合同出発式」に参加。初めて青色回転灯を装着した

自動車を使用し、防犯パトロールを行いました。

西田支部長は「これを機に安全安心のまちづくりに向け、なお一層努力していきたい」と今後の抱負を述べました。

同協議会は、日ごろ警察や学校と緊密な連携を図り、各種防犯活動への参加や防犯パトロールなど、少年非行防止の活動を行っています。



新装備車と少年補導員のみなさん

地下水について考える

地下水涵養、森林整備のシンポジウム

町交流情報センターミナテラス視聴覚室で12月8日、地下水や森の大切さを広く知ってもらうため「水がつなぐ『森』『川』『田んぼ』in益城」と題したシンポジウムが開催されました。

九州大学とサントリーホールディングス株式会社が主催し行われた、今回のシンポジ

ウムには町・大学関係者、約100人が参加。大学教授など5人が地下水涵養や森林整備に関する講演を行いました。

また、サントリーホールディングス株式会社は平成22年11月に本町と町土地改良区の3者で冬水田んぼ(冬期湛水)に関する協定を結んでいます。

地下水涵養の大切さを話すサントリーホールディングス(株)の山田健氏(左)

